



全道大会に行ってきました。

第54回全道高等学校書道展

文化連盟賞 3年 山崎紗奈さん

優秀賞 2年 池田芽生さん

10月7日(水)～9日(金)まで 令和2年度 北海道高等学校文化連盟第54回全道書道展・研究大会が帯広市で開催され、書道部15名が参加しました。

コロナウイルス感染防止の対策が厳重に行われ、マスク着用、三密をさけることはもちろん、手洗いの徹底・アリーナ席の一人ずつ間隔を開けての着席。終了後の全座席の消毒、コロナのためか2月にオープンしたアリーナの駐車場工事が間に合わなかったため、近くの河川敷を2日間草刈りをしてバスを止めるスペースを確保…すべて十勝支部の顧問の先生で行ってくれた、大きな難局を越えての開催でした。随所に新十勝スタイルが採用され、静かな中に「新しい大会」の形がみえたものになりました。天気は初日の昼食時にパラッと雨にあたりましたが、十勝晴れのすばらしいものでした。以下部員による大会報告です。



【1日目】

1年 武田 悠稀

朝、全員が遅れずに札幌駅に集合した。一人一人持ち物がとても多く大変だったが、大変さよりも楽しみな気持ちが大きかった。そしてバスに乗って十勝へと向かった。途中大人の方が書いた書道展(帯広百年記念館収蔵美術作品展のことです。)を見た。大きく力強い作品や小さい字でたくさん書かれているもの、独特な書体の作品などがあった。そして、よつ葉アリーナ十勝に向かった。特選以上に選ばれた作品をみた。様々な書体や創作など見たことのない書き方のものばかりだった。その中で自分の好きな書体を見つけたり、気に入った作品を探すのが、今までよりも奥深く楽しかった。夕方ホテルに着き、次の日の準備をした。温泉にも入り疲れをとることが出来た。

【2日目】

2年 山本 莉子

2日目の合評会では、他校の様々な作品を鑑賞したり、他校の先生から多くのアドバイスをいただいて、少ない時間でしたが、多くの刺激をもらいました。初めて見る書体の作品を見て自分も書いてみたいと思ったし、同じ書体でも雰囲気の違いのある作品もあり、もっと書き込んで書体の特徴を引き出せるようになりたいと思いました。今回の全道大会は去年と違って制限された中での開催だったけど、多くのことを吸収できました。

【3日目】

3年 長嶋 菜月



色々な学校の書道部員で構成された班で席書会を行いました。今回の席書会では、十勝で毎月発行している十勝管内の子どもの詩誌「サイロ」から詩を選び、各自制作するものでした。はじめに他己紹介を行って交流を深め、ウォーミングアップ、鑑賞を行い、いよいよ創作に取りかかりました。創作は正解が存在せず、自分自身の感性を表現するものなので、少し苦戦しましたが、とても楽しく書き上げることが出来ました。班内には様々な作品があり、とても刺激的でした。